

「文翔館周辺エリアウォークブル基本構想（案）」についての意見募集の結果

1. 意見の募集期間 令和8年2月16日（月）から令和8年3月6日（金）まで
2. 提出された意見の件数 9件（意見提出者5人）
3. 提出された意見の概要及び意見に対する県の考え方

NO	意見の概要	県の考え方
1	<p>【植栽について】 山形は夏の日差しがとても強いので、小さな木では日差しをよけることができません。憩える場所を作るのであれば、今ある樹木を保存しつつ、大きな木を育てるような施策をお願いします（たとえば仙台市中心部のように）。</p>	<p>木陰は憩いの空間づくりに欠かせない要素であり、本構想の基本方針である「歴史・文化と緑を活かした居心地の良い空間の創出」に基づき、既存樹木等の活用も含めた検討を進めてまいります。</p>
2	<p>【生活道路での検討について】 基本構想の取り組みはとてもよい取り組みだと思いますが、遊学館から北高までの道路の周辺は閑静な住宅地ですので、ウォークブル推進によって人が大勢来て道路が必要以上に賑わってしまうことは心配です。生活環境に配慮した検討をお願いします。</p>	<p>当該区間は生活道路であり、住環境への配慮が必要と認識しております。そのため、落ち着きある歩行環境の確保が必要と考えておりますが、具体的な整備については地域の皆様の意見を伺いながら検討してまいります。</p>
3	<p>【文翔館前の整備について】 文翔館前の整備にあたっては、単なる道路や広場の改修で終わらせるのではなく、文翔館が持つ歴史的・文化的な資産としての価値をしっかりと考慮して進めるべきである。</p>	<p>国指定重要文化財「旧県庁舎及び県会議事堂」である文翔館は、本県を代表する歴史的・文化的資産であり、その価値を十分に踏まえ居心地の良い空間づくりを検討してまいります。</p>
4	<p>【社会実験等について】 この取り組みの一環だと思いますが、バスルート変更に伴うバス停移設の社会実験が何度も行われていますが、比較的短い期間の実施にとどまり、その都度もとの位置に戻している印象があります。 利用者への事前の情報提供はされていたため、私自身は対応できましたが、今後も実施されるのであれば、実験後にそのまま恒久化するなど、利用者が混乱しないような仕組みにしてほしいです。 また、文翔館周辺が後世に誇れる空間となるようこの方針に基づきしっかりと進めていただきたい。</p>	<p>令和8年度は将来のルート変更による交通やバス利用者への影響を検証するための社会実験を予定しており、実施にあたっては、利用者への影響を最小限に抑えられるよう、バス事業者と連携・調整して進めてまいります。 また、将来像の実現に向け、歴史と文化を活かしながら居心地のよい空間の形成に努めてまいります。</p>

NO	意見の概要	県の考え方
5	<p>【無電柱化について】 対象エリアは既に電柱は地中化が整備済の区域でしょうか。それとも電柱地中化の計画があるのでしょうか。</p>	<p>対象エリアのうち、文翔館前と市役所前の県道は、無電柱化済みであり、今後整備する際も、引き続き無電柱化を実施する予定です。なお、遊学館から教育資料館の市道区間は、現時点では無電柱化の計画はありません</p>
6	<p>【カーボンニュートラルについて】 page4に1. 構想策定の背景と目的に地域の宝である歴史・文化資産を活かしながら、人々が集い、憩う「居心地が良く歩きたくなるまち」への転換を図り、その多様な交流等を通じて「心豊かな幸せ」を育むことを目指しますとありますが、対象エリアに滞在するため、公共交通機関の利用を促進しカーボンニュートラルに資する取組みが必要と思料します。</p>	<p>車中心から人中心へと道路空間のあり方を転換し、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指しております。このため、本構想においては、歩道の拡幅や自転車レーンの整備等を通じて、自動車から徒歩・自転車への利用が転換されることで、カーボンニュートラルにも一定の効果をもたらすものと考えております。検討を進めるにあたり参考にいたします。</p>
7	<p>【山形市外・県外からの来訪者について】 対象エリアに山形市以外から来る県民の利用を促進する取組みも必要であると思料します。</p>	<p>文翔館周辺は歴史的・文化的資産が集積しており、イベント等のソフト事業や魅力的な滞留空間の創出を通じて、山形市内のみならず、市外・県外からも多くの人々が訪れてもらえる空間づくりを目指してまいります。</p>
8	<p>【歩行者の安全について】 27ページの「歩行者利便増進道路（ほこみち）」は道路占用の特区的な制度と思いますが、歩行者の安全に留意した制度設計が必要であると思料します。</p>	<p>歩行者利便増進道路（ほこみち）の制度の活用と合わせ、歩行者と自転車の安全な通行環境の確保に向け、歩道の拡幅や自転車レーンの整備を検討してまいります。</p>
9	<p>【その他】 トイレの位置情報を周知する必要もあると思料します。</p>	<p>トイレの位置情報については、本構想で取り扱っておりませんが、検討を進めるにあたり参考にいたします。</p>